

年間研修計画の工夫

高等学校

特別支援教育に関する内容を
年間研修計画に位置付けた取組

活用した資料

校内研修プログラム P4

—校内研修プログラムの年間の活用
例—

○ 実践の概要

本校では、特別支援教育に関する内容を年間研修計画に位置付け、研修の中で生徒の実態を共有するとともに、指導や支援の方法等について、教職員間の共通理解を図っています。

	時期	内容	成果
特別支援教育に関わる「授業づくりチェックリスト」による実態把握及び情報共有	6月	授業における困難を把握するために「授業づくりチェックリスト」を活用しました。	特別な教育的支援を必要とする生徒を把握することができました。
特別支援教育パートナー・ティーチャー派遣事業による授業参観及び特別支援教育研修	7月、11月、2月	授業での観察や教科指導の助言、担任や特別支援教育コーディネーターとの面談を通して、校内の支援体制構築に向けた助言を受けました。	専門的な立場からの助言により、特別な教育的支援を必要とする生徒について具体的に指導や支援の方法を知ることができました。
教育局の特別支援教育スーパーバイザーによる授業参観及び校内研修会の実施	8月、11月	発達障がいへの理解と対応、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする生徒への効果的な指導について研修しました。	教育局スーパーバイザーからの指導助言により、教育的支援の具体的な手立てや関わり方、配慮について共通理解が図られました。
校内特別支援委員会	月1回	特別な教育的支援を必要とする生徒について情報共有をしました。	一人一人の生徒の情報を共有し、配慮が必要な生徒の早期発見及び適切な指導や支援につながりました。

【年間を通じた研修会や校内委員会の実施】

授業づくりのための学級集団の実態把握チェックリスト

(担任及びクラス展開をしている教科担任が強く感じた項目のみに〔1〕をつける。各項目で最低5人程度)

		これまでの学習や生活の全体的な様子・評価等から																							
生徒氏名		学習面										生活・行動面				その他									
		全般的な学力不振	学習意欲がない	わからないときに質問することがない	視覚優位（図等を見て理解すること）が得意で聞くことが苦手（）	聴覚優位（言葉を使って理解すること）が得意で聞くことが苦手（）	書くことが困難	読むことが困難	文章理解が困難	計算が困難	図形・グラフの理解が苦手	話すことが苦手	発音不明瞭	集中して話を聞くことが困難	集中して活動することが困難	忘れ物が多い	教室移動に支援が必要	整理整頓困難	落ち着かない・離席が多い	乱暴な行動が多い	人間関係が困難	欠席・遅刻が多い	健康上の配慮が必要	基本的な生活習慣に課題	家庭環境に問題
華嶋太郎			1		1					1				1	1					1					

【授業づくりチェックリストの一部】

○ 実践の成果

本取組では、特別支援教育に関する研修を計画的に実施することにより、全教職員の特別支援教育に関する理解を深めることができました。特に、教育局の特別支援教育スーパーバイザーを講師とした校内研修では、全ての生徒にとって分かりやすい授業づくりや多様な個性を互いに尊重する雰囲気づくりが大切であることについて共通理解を図ることができました。